寶治元年康元寶治和歌

特別
ハ4
5585

詠十五首和歌

山時雨　　民康

[illegible]

実桐の里や今ふる三つ[illegible]心箱根のしまもまつ[illegible]海そ

実真

[illegible]

秋夜や岡[illegible]

民康

門 へ
號 5585
巻

早稲田大學図書館
昭 34.6.1
藏書

[illegible]

宗澄

[illegible]

民吉

[illegible]

初言

民康

[illegible]

言沈

[illegible]

民真

[illegible]

若所言

宗沈

[illegible]

民康

[illegible]

民真

[illegible]

沈言

民康

[illegible]

[illegible]

宰澄

氏忠

初恋

[illegible]

宰澄

氏廉

[illegible]

氏忠

[illegible]

初恋

氏扇

[illegible]

宰澄

[illegible]

氏真

[illegible]

恋

宰澄

[illegible]

氏康

氏真

山

氏康

宗澄

氏真

獣

宗澄

氏康

氏真

浦

氏康

[illegible]

民真

たゝかひのうち[illegible]まつの松

宗流

[illegible]

民康

[illegible]

民吉

[illegible]

山家

民康

[illegible]

宗澄

[illegible]

民吉

[illegible]

同居

宗流

[illegible]

民康

中くまきちの屋敷に廣さ四方にて

氏真

人もとをく住居もとの山たのこゝろの友のつゝ

板

小のすゝかちきせゝかうゆきをゝうけの

宗長

ちをはなれ家の山のとをりのこゝろぶかきを

氏真

為のゝせゝそ松のせゝたよりをん

此一書ゝそ幸紙の御作者白ゝ言ゝ肝

ゝ給ゝの学問の為ハ句海ゝ作ゝ為者

なゝハ流ゝ紙今ゝ業ゝけ道ゝ作ゝ道

河の川光雪氏映ゝの川光ゝ

ゝゝまゝ屋敷のゝゝ

海ゝ眼ゝ国ゝの松ゝ

なゝハ川の中ゝ色ゝ光ゝ御功ゝ入

ゝ誠ゝ不思議ゝ俳ゝ

ゝ

芭蕉翁の御活中よりなかなか及ふ所よく
ともかくも申まつりてもなかなか厳命のかたく
安楠の顔まかりの末行きまてわけ難り
大人以前の批点ともに選集御篠なる
のいはまりし
十五首之内点眼印をなさる
阿誰　夜舟　雪　二句まて
紀逸　獣　浦
山家　閑居　祝

右十首之内点額今日勝負之次第写置
丁進以下左二手悼毎月切斬見捨被
一今日十一首之内紀逸殊に勝る去宅にて点
御秀逸なる手代之伊勢芭蕉之神詠作未成
識之様は所の毎首を初として桃之一風様之同
しめ人々給ひし麦頭并福雪八点眼なる
之気朝なれとも夜舟まて下きまてわかくの
御一句芭蕉文ありて新並御遊句にし給ふ
山家閑居之二首新境之所作にて感にたへ

[illegible]

言語道断ト見ル事ハ謡ヲ一唱シ二歌の
[illegible]
物狂変ル

一御謡物ハ分ケテ中歳人ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

名所言

歌の[illegible]

[illegible]

深言

[illegible]
八幡の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

同居

中ごろの文字此御領ゟ為てハ法華経
此文字を達のまゝ一首ゝゝ尾大事時
聖人の仏ゝ御ゝ書ゝ給ゝそのまゝ
文字ゝ仏ゝ法ゝ欲ゝ弘ゝ通ゝ御建立
おかゝく那てゝ掛ゝ為ゝ

右四大長寛元年　氏康　小隆
氏真　今川　二ゝ
實隆　道達院殿　御時長や

三四九八
八木トロ